

みえスマートライフ推進協議会第 10 回企画・運営委員会（平成 27 年 9 月 14 日）

の中間案に対する主な意見と対応

項目	意見	対応
基本理念	○伊勢神宮を始めとした文化や豊かな自然がある三重県では、新エネルギーを導入し、新しいライフスタイルにつなげていくことが必要。	○基本理念に現状認識として追記。
導入目標	○導入目標を設定する際に、同じような自然特性のある他県と比較する視点が必要。	○長期目標の設定にあたり、他県比較を実施
取組方向	○三重県では、産業部門のエネルギー消費が、約 6 割と高く、基本方針にある家庭と事業所における省エネの内容は違うので、各々について、より具体的に記載することは必要。 ○県民の視点で見れば、このビジョンの策定により、例えば電気料金など自分の生活がどうなるのかという視点が重要。 ○新エネルギーを防災まちづくりにも活用する視点が必要。	○取組方向 2 に家庭と事業所で切り分けて記載。 ○取組方向 2 に追記。 ○取組方向 3 の取組として、防災まちづくりの推進追記。
推進体制	○次は具体論で、うまく回るような仕組みを提案していくのか。地域の強みを生かして、新産業、新技術を県内にいかに誘致していくのか、企画が大事になってくるのかと思う。	○記述済（みえスマートライフ推進協議会の推進体制）